

機械

交通局
鉄道技術部
車両課

工藤 和貴

青森県むつ市出身
平成30年度採用



学校、市立病院、地下鉄といった、市の施設などの機械設備や、ごみ処理工場、下水浄化センターなどの大規模なプラントの建設や運転・監視、維持管理を行います。そのほかにも、施設計画に関する施策の検討なども行います。市民の生活に欠かすことのできない公共施設やライフラインの機能を守る役割を担っているため、人々の暮らしの基盤を支えていると強く実感できる職種です。



専門外のことも学び続けることの大切さ。

仙台市地下鉄南北線では、令和6年度からの車両更新に向けて新型車両の設計が進められています。地下鉄南北線・東西線の車両、検修設備に関する計画の策定や設計・製作、車両の故障調査・処置を担当する工藤さんも、開業35年目にして初となるこのビッグプロジェクトに参加している職員の一人。新型車両の設計のうち、ブレーキ装置や車内の案内表示器、車



体全般を担当し、製作仕様の決定に向けて関係事業者と詳細を協議しています。「機械職は原材料となる金属の材質や設計・組み立てなど、設備そのものの知識を必要とします。これら

の専門的な知識や根拠法令など、事前に勉強したことを協議の場で生かすことができたときは特に自分の成長を感じられますが、それ以外にもさまざまな知識・経験が求められるので、専門外のことであっても一つひとつ学ぶことを意識して業務にあたっています」。

機械職と言っても、その業務内容や配属先は幅広く、現場に行くたびに新しい発見があることが特色だという工藤さん。以前は民間企業で医療用ソフトウェアのプログラミング業務に携わっていましたが、自身の持つ知識・技術を幅広い分野で生かせるところに公務員の魅力を感じたといいます。「自分が担当した設備が市民の方々に利用してもらえたときの達成感が何よりのやりがい。今後はさらなるスキルアップを目指し、技術士の資格取得に向けて勉強中です」と語る工藤さんは、資格を持つことで部門のスペシャリストとしての自覚と業務へのモチベーションを高められると考えています。「新しいことを率先して取り入れる柔軟な思考を持ち、東北全体を引っ張っていけるようなまちづくりに関わっていけたらと思っています」。



One day Schedule

- 8:30 出勤
- 8:45 メールチェック
- 9:00 係打ち合わせ
(前日の車両保守状況・業務の共有など)
- 10:00 車両設計図面・製作仕様の確認作業
- 12:00 昼休憩
- 13:00 新型車両設計会議
(製造請負事業者とのオンライン打ち合わせ)
- 16:30 事務処理
- 17:15 退勤

Private

音楽が好きなので、休日はアンビエント(環境音楽)を聴きながら家でゆっくり過ごしています。大学生の頃から趣味で作曲もしていたので、コロナ禍で自宅時間が増えてからは友人と一緒に楽曲を作って楽しむことも多くなりました。